

景況レポート

No.132

2020年7月～9月期



北見しんきん

〒090-8711 北見市大通東1丁目2番地1

電話(代) 0157-66-3111

URL: <http://www.shinkin.co.jp/kitami/>

本レポートはホームページでもご覧になれます。

景気動向

道内景気

日本銀行札幌支店が10月1日に発表した9月の企業短期経済観測調査結果(短観)によりますと、道内企業の景況感を示す業況判断指数(DI:「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値)は全産業で▲19となり、前回の調査『▲26』から改善しました。内訳では、製造業(前回▲32→今回▲25)、非製造業(前回▲23→今回▲17)ともに改善しました。2020年12月までの全産業での先行き予測は▲21と、悪化の見通しです。

また、10月1日に発表された道内の金融経済概況は次の通りです。道内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状況にあるが、徐々に持ち直している。個人消費は、引き続き低い水準となっているが、徐々に持ち直している。観光は、引き続き厳しい状況にあるが、徐々に持ち直している。輸出は下げ止まっている。住宅投資は弱めの動きとなっている。設備投資は減少している。公共投資は高水準で推移している。生産は下げ止まりつつある。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

- ・ 公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額は、高水準で推移している。
- ・ 新設住宅着工戸数をみると、持家は弱めの動きとなっている。貸家は低水準で推移している。分譲は高めの水準で推移している。
- ・ 個人消費は、サービス消費、百貨店販売などでは、引き続き低い水準となっているが、経済活動の再開に伴い、徐々に持ち直している。日用品や食料品では増勢が鈍化している。
- ・ 観光は、引き続き厳しい状況にあるが、徐々に持ち直している。
- ・ 消費者物価(除く生鮮食品)は、エネルギー価格を中心に前年を下回っている。
- ・ 企業倒産は、低水準で推移している。

地区内景気

今回の当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したDI値は、売上高が▲56と6ポイントの改善、収益も▲55と1ポイントの改善でした。直前3ヵ月と比較した今後3ヵ月の見通しでは、売上DI値は▲22、収益DI値は▲25と、ともに悪化の見通しとなっています。

特別調査 【新型コロナウイルスの感染拡大を受けた中小企業の対応について】

新型コロナウイルスの感染拡大は、中小企業の経営に甚大な影響を及ぼしています。一方、中小企業の間では、就業形態や営業体制、事業そのものの見直しなど、コロナウイルスに対応する動きもみられています。そこで今回は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた中小企業の対応について調査しました。

【売上の回復時期】

「わからない」が39.8%と最も高くなっています。以下、「2021年中」が15.5%、「2022年中」が13.2%で続いています。また、「現状でコロナ前に到達・上回っている」は9.9%となり、「戻ることはない」は8.3%となっています。

【出社を必要としない就労形態の実施状況】

「実施した（予定を含む）」の合計が7.7%、「実施していない」の合計が92.3%となっています。「実施できる業務ではない」との回答が最も高く、全体の82.7%を占めています。

【雇用ならびに1人当たり支給額の方針】

「該当者はいない」を除くと、正規社員については59.8%が、非正規社員については39.7%が「雇用、支給額とも維持・増加する」と回答しており、それぞれ最も高くなっています。

【今後の事業の見直しについての実施・検討状況】

「勤務時間、勤務方法」が30.9%と最も高く、以下「職場環境（3密防止など）」が29.8%、「調達先・調達方法（多様化・分散など）」が15.5%で続きました。また、「実施・検討していない」は35.9%となっています。

【営業拡大の観点での実施・検討状況】

「既存顧客に対するサポートの徹底」が32.0%と最も高く、以下「新しい顧客の開拓」が27.1%で続きました。また、「実施・検討していない」は32.0%となっています。

【貴社では、売上高がコロナ前の水準に回復する時期を、いつごろと見込んでいますか。1～7の中からお答えください。】

	《全国》	
1. 現状でコロナ前に到達・上回っている	9.9%	8.3%
2. 2020年中	3.9%	5.1%
3. 2021年中	15.5%	25.7%
4. 2022年中	13.2%	16.7%
5. 2023年以降	9.4%	9.0%
6. 戻ることはない	8.3%	4.1%
7. わからない	39.8%	31.1%

【貴社では、テレワークや在宅勤務、リモートワークといった、出社を必要としない就労形態を実施（予定を含む。）していますか。実施している方は1～3の中からお答えください。実施していない方はその理由について、最も当てはまるものを4～0の中からお答えください。】

実施した（予定を含む）	《全国》	
1. コロナウイルス感染拡大前から実施済み	3.3%	1.5%
2. コロナウイルスをきっかけに実施した	3.3%	12.0%
3. これから実施する予定	1.1%	3.1%
実施していない		
4. 実施できる業務ではない	82.7%	72.9%
5. 実施コストがかかる	1.7%	1.8%
6. セキュリティ面で不安	1.1%	0.8%
7. 従業員を管理できない	0.6%	1.0%
8. ITに知見を持つ人材がいない	0.0%	1.0%
9. 従業員がいない（家族経営等）	6.2%	4.8%
0. その他	0.0%	1.2%

【貴社では、今現在、雇用ならびに1人当たり支給額（給与、手当、賞与等）に関する方針について、どのようにお考え（予定を含む）ですか。正規社員は1～5の中から、非正規社員（パート、アルバイト、派遣社員等）は6～0の中から、それぞれお答えください。】

正規社員	《全国》	
1. 雇用、支給額とも維持・増加する	59.8%	60.0%
2. 雇用は維持・増加するが、支給額を減らす	12.3%	14.1%
3. 雇用を減らし、支給額は維持・増加する	6.1%	4.8%
4. 雇用、支給額とも減らす	1.1%	3.3%
5. 該当者はいない	20.7%	16.6%
非正規社員		
6. 雇用、支給額とも維持・増加する	39.7%	30.8%
7. 雇用は維持・増加するが、支給額を減らす	5.0%	7.3%
8. 雇用を減らし、支給額は維持・増加する	5.0%	5.1%
9. 雇用、支給額とも減らす	1.1%	4.2%
0. 該当者はいない	49.2%	38.9%

【貴社では、今現在、今後の事業の見直しについて、実施・検討していることはありますか。実施・検討している方は、1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。】

	《全国》	
1. 調達先・調達方法（多様化・分散など）	15.5%	18.9%
2. 勤務時間、勤務方法	30.9%	28.0%
3. 職場環境（3密防止など）	29.8%	33.6%
4. 委託先・外注先選定の見直し	8.3%	8.7%
5. 事業継続計画（BCP）の整備・見直し	10.5%	9.0%
6. 生産・販売拠点の見直し	11.6%	9.8%
7. 事業全体（事業転換など）	6.6%	5.7%
8. 事業譲渡・廃業	2.8%	2.3%
9. その他	1.1%	0.9%
0. 実施・検討していない	35.9%	32.4%

【貴社では、今現在、営業拡大の観点で実施・検討していることはありますか。実施・検討している方は、1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。】

	《全国》	
1. 営業方法の模索（オンライン商談など）	8.8%	16.8%
2. 販売チャネルの模索（配達など）	9.9%	9.3%
3. 新しい顧客の開拓	27.1%	35.8%
4. 広告宣伝方法の模索（SNS活用など）	14.4%	14.5%
5. 新商品・サービスの開発	15.5%	12.5%
6. 既存顧客に対するサポートの徹底	32.0%	26.6%
7. 生産・販売拠点の拡充	5.5%	5.9%
8. 同業者・外部支援機関等との連携強化	20.4%	13.0%
9. その他	1.7%	0.6%
0. 実施・検討していない	32.0%	29.2%

売上

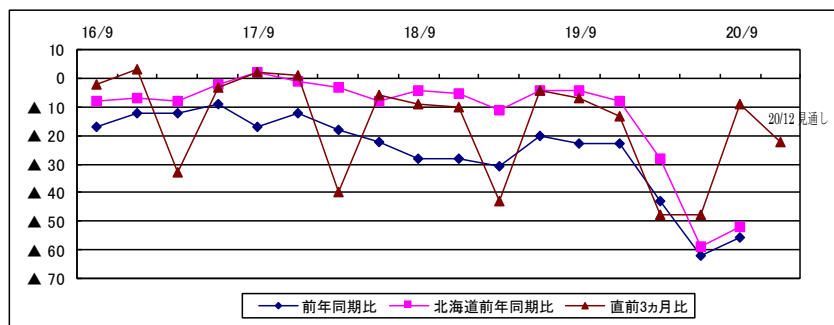
調査対象先企業 181 社の売上を総体的にみますと、前年同期（19 年 7～9 月）と比較して「増加」した先 13%、「変らず」の先 18%、「減少」した先 69%で、その D I 値（増加割合－減少割合）は▲56 となり、前回調査より 6 ポイント改善しました。

業種別でみますと、製造業・卸売業・小売業は大きく改善し、サービス業は小幅改善、建設業は悪化となっています。

3 ヶ月毎の比較では大きく改善、今後 3 ヶ月についても改善の見込みです。

売上

D I 値 図 表



調査時期	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9
前年同期比	▲17	▲12	▲12	▲9	▲17	▲12	▲18	▲22	▲28	▲28	▲31	▲20	▲23	▲23	▲43	▲62	▲56

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9
北海道	▲8	▲7	▲8	▲2	2	▲1	▲3	▲8	▲4	▲5	▲11	▲4	▲4	▲8	▲28	▲59	▲52

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9
直前3ヵ月比	▲2	3	▲33	▲3	2	1	▲40	▲6	▲9	▲10	▲43	▲4	▲7	▲13	▲48	▲48	▲9

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に行った全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1 ページ目の日報短観とは別の調査によるものです。

収益

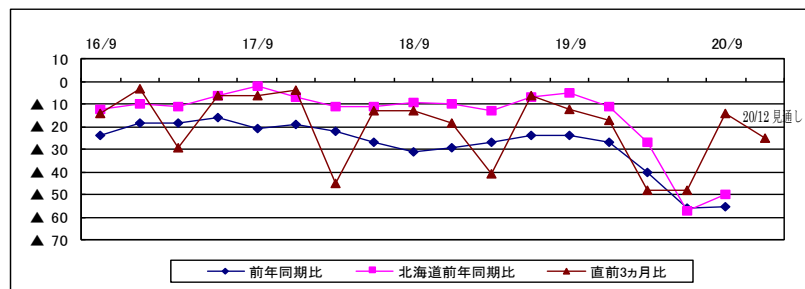
調査対象先企業 181 社の収益を総体的にみますと、前年同期（19 年 7～9 月）と比較して「増加」した先 12%、「変らず」の先 21%、「減少」した先 67%で、その D I 値（増加割合－減少割合）は▲55 となり、前回調査より 1 ポイント改善しました。

業種別でみますと、製造業・卸売業・小売業は改善、建設業・サービス業は悪化となっています。

3 ヶ月毎の比較では改善、今後 3 ヶ月は悪化の見込みです。

収益

D I 値 図 表



調査時期	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9
前年同期比	▲24	▲18	▲18	▲16	▲21	▲19	▲22	▲27	▲31	▲29	▲27	▲24	▲24	▲27	▲40	▲56	▲55

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9
北海道	▲12	▲10	▲11	▲6	▲2	▲7	▲11	▲11	▲9	▲10	▲13	▲7	▲5	▲11	▲27	▲57	▲50

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9
直前3ヵ月比	▲14	▲3	▲29	▲6	▲6	▲4	▲45	▲13	▲13	▲18	▲41	▲6	▲12	▲17	▲48	▲48	▲14

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に行った全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1 ページ目の日報短観とは別の調査によるものです。

概況

調査先製造業全体の業況を前年同期（19年7～9月）と比較してみますと、売上で「増加」した先19%、「変らず」の先10%、「減少」した先71%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲52 となり、前回調査より13 ポイント改善しました。

収益は「増加」した先13%、「変らず」の先22%、「減少」した先65%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲52 となり、前回調査より6 ポイント改善しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(20/6)	3	5	23	▲65
	今回(20/9)	6	3	22	▲52
収益	前回(20/6)	2	9	20	▲58
	今回(20/9)	4	7	20	▲52

動向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに改善しました。

内訳をみますと、食料品・建設関連で大きく改善しました。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに改善しました。

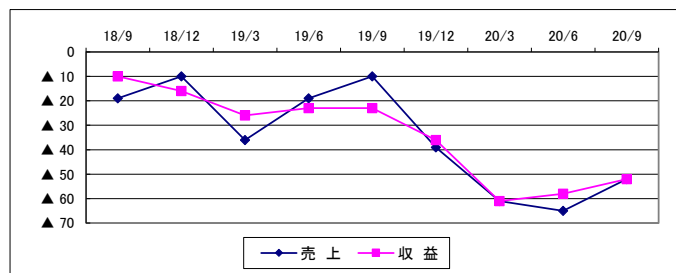
【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化の見通しです。

調査員のコメントには、「新型コロナウイルスの影響により、人を集めた展示会が開催できず、再開時期も見通せない」といったものがありました。

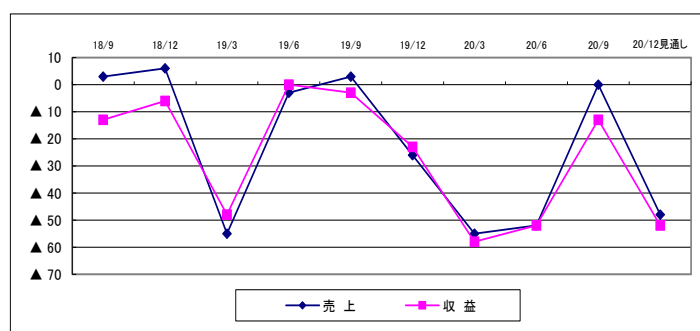
前年同期比

DI値図表



直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12見通し
売上	3	6	▲55	▲3	3	▲26	▲55	▲52	0	▲48
収益	▲13	▲6	▲48	0	▲3	▲23	▲58	▲52	▲13	▲52

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	食 料 品	木材製品	建設関連	そ の 他
売 上 額	4月～6月と比較	0	71	▲ 50	29	▲ 29
	10月～12月の見通し	▲ 48	▲ 43	▲ 60	▲ 15	▲ 71
収 益	4月～6月と比較	▲ 13	43	▲ 40	14	▲ 57
	10月～12月の見通し	▲ 52	▲ 57	▲ 80	0	▲ 57
販売価格	4月～6月と比較	▲ 3	0	▲ 10	0	0
	10月～12月の見通し	▲ 6	0	▲ 20	0	0
原材料 価 格	4月～6月と比較	19	29	0	14	43
	10月～12月の見通し	7	14	▲ 20	29	14
原材料 在 庫	4月～6月と比較	16	14	20	0	29
	10月～12月の見通し	13	14	20	▲ 14	29
資金繰	4月～6月と比較	▲ 7	14	▲ 30	0	0
	10月～12月の見通し	▲ 23	14	▲ 50	▲ 14	▲ 29

概 況

調査先卸売業全体の業況を前年同期（19年7～9月）と比較してみますと、売上で「増加」した先9%、「変わらず」の先27%、「減少」した先64%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲55となり、前回調査より18ポイント改善しました。

収益は「増加」した先9%、「変わらず」の先32%、「減少」した先59%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲50となり、前回調査より5ポイント改善しました。

販売価格は「増加」した先23%、「変わらず」の先63%、「減少」した先14%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は9となり、前回調査より14ポイント上昇しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	D I 値
売上	前回(20/6)	2	2	18	▲73
	今回(20/9)	2	6	14	▲55
収益	前回(20/6)	3	4	15	▲55
	今回(20/9)	2	7	13	▲50
販売価格	前回(20/6)	2	17	3	▲5
	今回(20/9)	5	14	3	9

動 向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに改善し、販売価格は上昇しました。
内訳をみますと、食料品が大きく改善しました。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに改善し、販売価格は上昇しました。

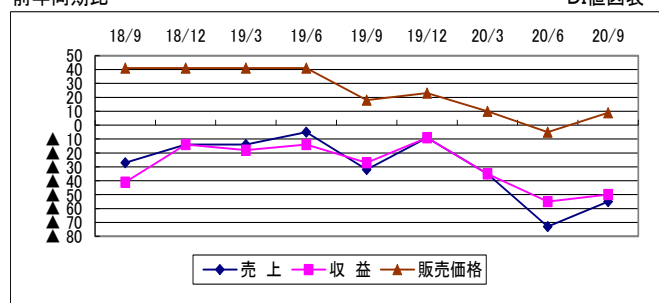
【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化し、販売価格は下降する見通しです。

調査員のコメントには、「新型コロナウイルスの影響により、社内体制の整備に着手し、ネット会議システムを導入した」といったものがありました。

前年同期比

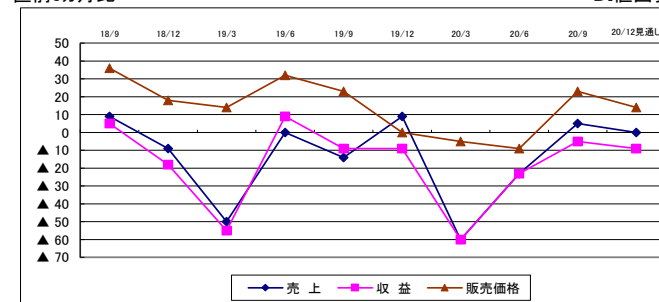
DI値図表



調査時期	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9
売上	▲27	▲14	▲14	▲5	▲32	▲9	▲35	▲73	▲55
収益	▲41	▲14	▲18	▲14	▲27	▲9	▲35	▲55	▲50
販売価格	41	41	41	41	18	23	10	▲5	9

直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12見通し
売上	9	▲9	▲50	0	▲14	9	▲60	▲23	5	0
収益	5	▲18	▲55	9	▲9	▲9	▲60	▲23	▲5	▲9
販売価格	36	18	14	32	23	0	▲5	▲9	23	14

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	食 料 品	建設関連	そ の 他
売 上 額	4月～6月と比較	5	43	25	▲57
	10月～12月の見通し	0	29	0	▲29
収 益	4月～6月と比較	▲5	29	13	▲57
	10月～12月の見通し	▲9	14	▲13	▲29
販売価格	4月～6月と比較	23	14	38	14
	10月～12月の見通し	14	14	13	14
仕入価格	4月～6月と比較	27	29	25	29
	10月～12月の見通し	27	43	13	29
在 庫	4月～6月と比較	9	14	0	14
	10月～12月の見通し	14	43	0	0
資 金 繰	4月～6月と比較	▲9	▲14	0	▲14
	10月～12月の見通し	▲14	▲29	0	▲14

概 況

調査先小売業全体の業況を前年同期（19年7～9月）と比較してみますと、売上で「増加」した先20%、「変らず」の先20%、「減少」した先60%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲40となり、前回調査より30ポイント改善しました。

収益は「増加」した先22%、「変らず」の先13%、「減少」した先65%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲43となり、前回調査より17ポイント改善しました。

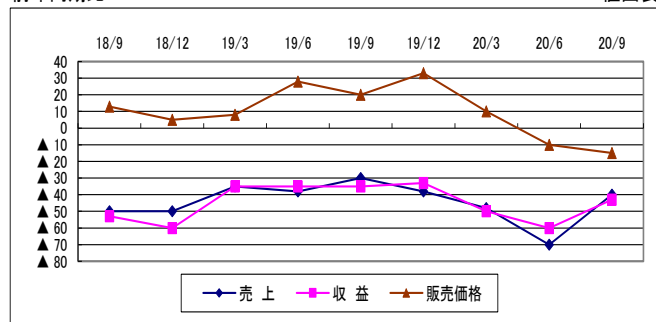
販売価格は「増加」した先7%、「変らず」の先71%、「減少」した先22%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲15となり、前回調査より5ポイント下降しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(20/6)	3	6	31	▲70
	今回(20/9)	8	8	24	▲40
収益	前回(20/6)	6	4	30	▲60
	今回(20/9)	9	5	26	▲43
販売価格	前回(20/6)	5	26	9	▲10
	今回(20/9)	3	28	9	▲15

前年同期比

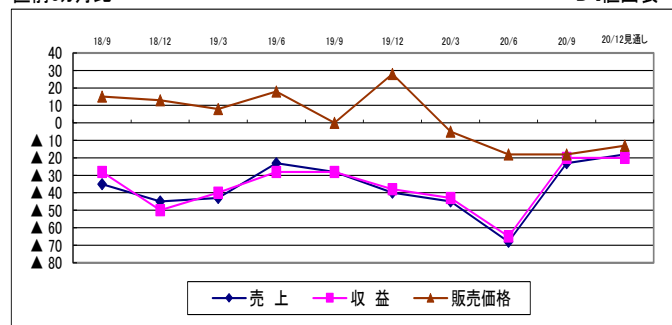
D I 値図表



調査時期	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9
売上	▲50	▲50	▲35	▲38	▲30	▲38	▲48	▲70	▲40
収益	▲53	▲60	▲35	▲35	▲35	▲33	▲50	▲60	▲43
販売価格	13	5	8	28	20	33	10	▲10	▲15

直前3ヵ月比

D I 値図表



調査時期	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12見通し
売上	▲35	▲45	▲43	▲23	▲28	▲40	▲45	▲68	▲23	▲18
収益	▲28	▲50	▲40	▲28	▲28	▲38	▲43	▲65	▲20	▲20
販売価格	15	13	8	18	0	28	▲5	▲18	▲18	▲13

動 向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに改善したものの、販売価格は下降しました。

内訳でも売上はおおむね改善しましたが、販売価格は下降しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに大きく改善しましたが、販売価格は横這いとなりました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上は改善の見通しですが、収益は横ばい、販売価格は上昇の見通しです。

調査員のコメントには、「商材の仕入れに関して、春先に比べると安定入荷されるようになった」「テイクアウトやデリバリーを開始したことで業況は回復傾向にある」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	衣 料 品	食 料 品	そ の 他
売上 額	4月～6月と比較	▲23	▲50	▲25	▲14
	10月～12月の見通し	▲18	0	▲8	▲27
収 益	4月～6月と比較	▲20	▲67	▲17	▲9
	10月～12月の見通し	▲20	▲17	▲17	▲23
販売価格	4月～6月と比較	▲18	▲33	▲8	▲18
	10月～12月の見通し	▲13	33	▲25	▲18
仕入価格	4月～6月と比較	5	▲17	17	5
	10月～12月の見通し	5	33	17	▲9
在 庫	4月～6月と比較	▲3	33	8	▲18
	10月～12月の見通し	▲3	50	▲8	▲14
資金繰	4月～6月と比較	▲28	▲50	▲50	▲9
	10月～12月の見通し	▲28	▲33	▲50	▲14

概況

調査先建設業全体の業況を前年同期（19年7～9月）と比較してみますと、売上で「増加」した先14%、「変らず」の先15%、「減少」した先71%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲57となり、前回調査より31ポイント悪化しました。

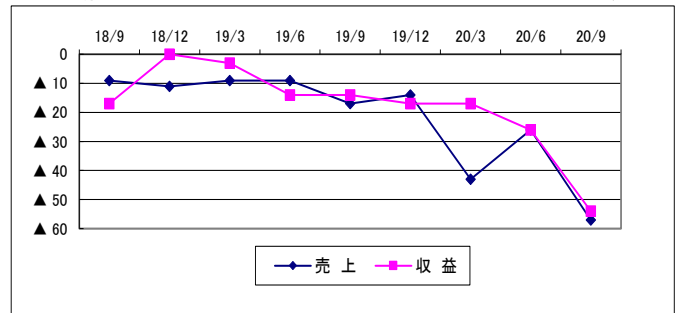
収益は「増加」した先12%、「変らず」の先22%、「減少」した先66%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲54となり、前回調査より28ポイント悪化しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(20/6)	7	12	16	▲26
	今回(20/9)	5	5	25	▲57
収益	前回(20/6)	6	14	15	▲26
	今回(20/9)	4	8	23	▲54

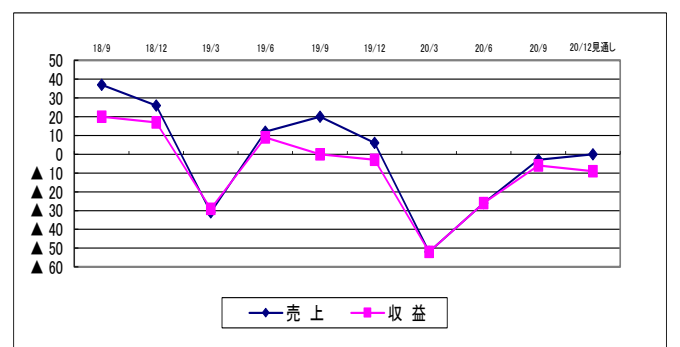
前年同期比

DI値図表



直前3ヵ月比

DI値図表



動向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに悪化しました。

内訳のD I 値の推移は以下のようになっています。

- ・ 土木売上：前回▲17→今回▲42
- ・ 同 収益：前回▲33→今回▲42
- ・ 建築売上：前回▲50→今回▲69
- ・ 同 収益：前回▲38→今回▲69

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに改善しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上は改善、収益は悪化の見通しです。

調査員のコメントには、「新型コロナウイルスが受注に与える影響はほとんど無いが、万一、現場に感染者が発生すると現場が止まる懸念がある」「コロナの影響により、特に春先の工期にズレが生じた分、現在竣工に向け繁忙」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	土 木	建 築	そ の 他
売 上 額	4月～6月と比較	▲ 3	42	▲ 38	0
	10月～12月の見通し	0	▲ 17	▲ 6	43
施 工 高	4月～6月と比較	0	42	▲ 25	▲ 14
	10月～12月の見通し	0	▲ 8	0	14
収 益	4月～6月と比較	▲ 6	8	▲ 31	29
	10月～12月の見通し	▲ 9	▲ 17	▲ 19	29
請負価格	4月～6月と比較	6	17	0	0
	10月～12月の見通し	3	0	6	0
材料価格	4月～6月と比較	31	17	50	14
	10月～12月の見通し	26	17	31	29
在 庫	4月～6月と比較	3	0	6	0
	10月～12月の見通し	3	0	6	0
資金繰	4月～6月と比較	3	17	0	▲ 14
	10月～12月の見通し	9	17	0	14

概 況

調査先サービス業全体の業況を前年同期(19年7~9月)と比較してみますと、売上で「増加」した先4%、「変らず」の先22%、「減少」した先74%で、そのD I 値(増加割合-減少割合)は▲70となり、前回調査より4ポイント改善しました。

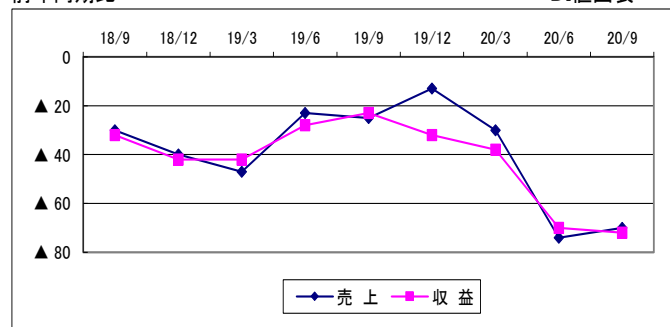
収益は「増加」した先4%、「変らず」の先20%、「減少」した先76%で、そのD I 値(増加割合-減少割合)は▲72となり、前回調査より2ポイント悪化しました。

調査回答数(前年同期比)

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(20/6)	2	10	41	▲74
	今回(20/9)	2	12	39	▲70
収益	前回(20/6)	2	12	39	▲70
	今回(20/9)	2	11	40	▲72

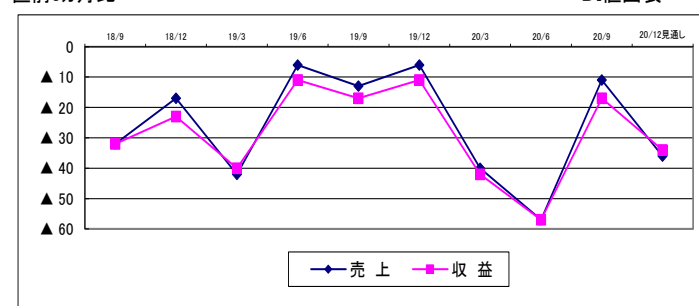
前年同期比

DI値図表



直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12見通し
売上	▲32	▲17	▲42	▲6	▲13	▲6	▲40	▲57	▲11	▲36
収益	▲32	▲23	▲40	▲11	▲17	▲11	▲42	▲57	▲17	▲34

動 向

【前年同期との比較】

売上は改善、収益は悪化しました。

内訳では車両販売に回復の兆しが見えます。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに大幅に改善しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化の見通しです。

調査員のコメントには、「コロナ禍によって一時的に休業したこともあるが、客足は戻ってきている」「コロナ禍によって、営業方法の改善に迫られ、SNS等を強化する方針」「Go Toトラベルによって、広く地域に効果がもたらされれば」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	理容美容	車両関係	そ の 他
売上 額	4月~6月と比較	▲11	▲11	▲14	▲10
	10月~12月の見通し	▲36	▲22	▲50	▲33
収 益	4月~6月と比較	▲17	▲22	▲14	▲17
	10月~12月の見通し	▲34	▲22	▲43	▲33
料金価格	4月~6月と比較	8	0	7	10
	10月~12月の見通し	▲2	0	7	▲7
材料価格	4月~6月と比較	23	0	36	23
	10月~12月の見通し	23	0	36	23
資金繰	4月~6月と比較	▲25	▲22	▲29	▲23
	10月~12月の見通し	▲26	▲22	▲43	▲20

経営上の問題点 【複数回答】

	1 位	2 位	3 位
製造業	売上の停滞・減少 58.1%	利幅の縮小 35.5%	人手不足 29.0%
卸売業	売上の停滞・減少 59.1%	利幅の縮小 54.5%	同業者間の競争の激化 31.8%
小売業	売上の停滞・減少 60.0%	商圏人口の減少 25.0%	大型店との競争の激化 20.0%
建設業	売上の停滞・減少 60.0%	人手不足 48.6%	同業者間の競争の激化 31.4%
サービス業	売上の停滞・減少 60.4%	同業者間の競争の激化 24.5%	人手不足 22.6%

経営施策 【複数回答】

	1 位	2 位	3 位
製造業	経費を節減する 51.6%	販路を広げる 45.2%	人材を確保する 41.9%
卸売業	経費を節減する 59.1%	情報力を強化する 59.1%	販路を広げる 45.5%
小売業	経費を節減する 52.5%	売れ筋商品を取扱う 37.5%	品揃えを改善する 27.5%
建設業	経費を節減する 51.4%	人材を確保する 51.4%	技術力を高める 48.6%
サービス業	経費を節減する 49.1%	販路を広げる 32.1%	人材を確保する 30.2%

【調査要領】

1. 調査地域 北見地方1市4町（北見市、置戸町、訓子府町、美幌町、津別町）
2. 調査時点 2020年 9月
2020年 7月～ 9月期の実績および見込み
2020年10月～12月期の見通し
3. 調査対象企業 当金庫お取引先181社（任意抽出）
回答企業数 181社
回答率 100%
4. 調査方法 調査表による訪問聞き取り調査
調査表は信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」と同一のものを使用
5. 業種別回答企業数

製造業	卸売業	小売業	建設業	サービス業	合 計
31	22	40	35	53	181

6. 分析方法
各質問項目を100分比に換算し、パーセント（%）数値による分析を行いました。また、好転か悪化の傾向をみる方法として、「増加割合－減少割合＝判断指数（D I 値）」で分析を行いました。

「新型コロナウイルス肺炎対応 金融相談窓口」の設置について

さまざまな業種のお客さまに、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大しております。
当金庫では、下記のサテライト店を除く本支店窓口に「新型コロナウイルス肺炎対応 金融相談窓口」を設置しております。各種経営相談や、円滑な資金供給を通じて地域をサポートいたします。

サテライト店（相談窓口を設置していません）

温根湯支店、相内支店、ことぶき支店、南大通支店【北見市】
南支店、しらかば支店【帯広市】
南が丘支店【紋別市】

本店営業部では土・日・祝日もご相談を承っております。

オホーツク圏経済情勢報告（令和2年4～6月期）概況

	前回（2年6月発表）	今回（2年8月発表）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にある【判断の据え置きは、令和元年10-12月期以来、2期ぶり】	⇒	個人消費は、「巣ごもり需要」や特別定額給付金の支給などに伴い、足下では緩やかに持ち直しつつある。 一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光は悪化しており、雇用も弱い動きとなっている。

	前回（2年6月発表）	今回（2年8月発表）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、一進一退の状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある	↗
観光	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、悪化している	↘
雇用	改善してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	↘

公共事業	累計で前年を下回る	前年を上回る	↗
住宅着工	累計で前年を上回る	前年を下回る	↘

先行き	感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。		
-----	---	--	--